

# SHANON MARKETING PLATFORM 専用ドメイン利用プランのご案内

株式会社シャノン

2019/07/19

# ご利用プラン種類

プラン名※1	プランA※2	プランB※2	プランC
ドメインの 取得・運用※3	シャノン※4	お客様	お客様
DNSの運用	シャノン	お客様	お客様
SSL証明書の 取得・運用※3	シャノン	シャノン	お客様※5
月額料金	¥10,000～	¥10,000～	¥5,000
説明	専用ドメインに関連する全ての作業をシャノンに委託して頂くプランです。ドメインの取得・管理、DNSの運用、SSL証明書の取得・管理をシャノンが行ないます。	お客様が新たに取得するドメイン、もしくは既に取得済のドメインをご利用頂く場合のプランです。SSL証明書の取得・管理をシャノンが行ないます。	ドメインやSSL証明書の取得・管理を全てお客様にして頂くプランです。SSL証明書のサーバへのインストールのみシャノンが行ないます。

※1 上記に記載の無いプラン (例:ドメインをシャノンで取得し、SSL証明書をお客様で取得する)はお取り扱い出来ません。

※2 ドメインの取得は「お名前 .com」、SSL証明書の取得は「Amazon Web Services」または「グローバルサイン」で対応致します。

※3 お客様にて取得されたドメイン・SSL証明書の期限管理はお客様ご自身にて行っていただきますのでご注意ください。期限管理については P13も併せてご確認ください。

※4 名義はお客様となりますが、SSL証明書発行時などドメイン所有権確認が発生する場合、弊社で認証を代行いたします。

※5 お客様にてSSL証明書を取得される場合の注意事項を P7にまとめておりますので、ご確認ください。

# AWSのSSL証明書提供開始について

この度専用ドメインプランをご利用のお客様に、Amazon Web Services(AWS)のSSL証明書の提供を開始いたしました。

特徴として証明書が自動更新なので、**毎年の更新作業が不要**となります。

新規ご契約のお客様にはAWSのSSL証明書を提供いたします。  
既にご契約中のお客様については、AWS環境に移行後の初回更新時からAWSのSSL証明書に変更になります。

ご利用の際は、以下の点が従来と異なりますのでご注意ください。

1.

お客様管理のドメインの場合、初めてAWSのSSL証明書を利用する際 **のみドメイン**管理者のお客様にて、SSL証明書の発行認証を行っていただきます。

認証方法は、

ドメイン管理メールアドレスでのメール受信、

または、お客様DNSへの認証レコード追加から選択いただけます。

2.

1度SSL証明書を新規発行した後は、自動更新となり更新時にお客様での対応は不要となります。

# プランA(全てシャノンで代行)

**お客様の役割:** 全てをシャノンに委託

**シャノンの役割:** ドメインの取得・管理、DNSの運用、SSL証明書の取得・管理、SSL証明書のサーバインストール

**シャノン担当者:** 専用ドメイン利用申込書をお送りいたします。



**お客様:** 利用するFQDNをご決定頂きます。



**お客様:** **シャノン担当者**へ必要事項を記入した専用ドメイン利用申込書をご返送ください。



**シャノン担当者:** ドメインを代行して取得し、DNSサーバに設定いたします。



**シャノン担当者:** SSL証明書を代行して取得いたします。



**シャノン担当者:** サーバに代行取得したSSL証明書をインストールいたします。



**シャノン担当者:** 設定が完了したことをご連絡いたします。



**シャノン担当者:** 以降のドメイン、SSL証明書の管理をいたします。

# プランB(SSL証明書の取得・インストール・管理をシャノンで代行)

**お客様の役割:** ドメインの取得・管理、DNSの運用

**シャノンの役割:** SSL証明書の取得・管理、SSL証明書のサーバインストール

**シャノン担当者:** 専用ドメイン利用申込書をお送りいたします。



**お客様:** 利用するFQDNをご決定頂き、**シャノン担当者**へ必要事項を記入した専用ドメイン利用申込書をご返送ください。



**シャノン担当者:** お客様のDNSサーバに設定するCNAMEレコードをご連絡いたします。※



**お客様:** ドメインを取得し、**シャノン担当者**よりご連絡したCNAMEレコードをお客様のDNSサーバにご登録ください。



**お客様:** お客様のDNSサーバの設定変更が完了したことを**シャノン担当者**にご連絡ください。



**シャノン担当者:** SSL証明書の取得承認メールの送信先アドレス候補一覧をお送りいたします。



**お客様:** 送信先アドレス一覧からSSL取得承認メールを受け取るアドレスをご選択頂き、**シャノン担当者**へご返信ください。



**シャノン担当者:** SSL証明書の取得申請をいたします。



**お客様:** ご選択のアドレス宛にSSL証明書の取得承認メールが送信されます。



**お客様:** メールに従い、SSL証明書の取得を承認してください。



**シャノン担当者:** サーバに代行取得したSSL証明書をインストール後、設定完了のご連絡をいたします。



**シャノン担当者:** 以降のSSL証明書の管理をいたします。

※保守上の理由によりCNAMEレコードが変更になる可能性がございます。

# プランC(SSL証明書のインストールのみシャノンで代行)

**お客様の役割:** ドメインの取得・管理、DNSの運用、SSL証明書の取得・管理

**シャノンの役割:** SSL証明書のサーバインストール

**シャノン担当者:** 専用ドメイン利用申込書をお送りいたします。

**お客様:** シャノン作成のCSRを使用し、SSL証明書を取得してください。

**お客様:** 利用するFQDNをご決定頂き、**シャノン担当者**へ必要事項を記入した専用ドメイン利用申込書をご返送ください。

**お客様:** SSL証明書の設定に必要な「サーバ証明書」・「上位サーバの中間証明書」をシャノン指定のファイル交換システム経由でお送りください。

**シャノン担当者:** お客様用のCNAMEレコードのご連絡、CSRファイルの作成・送信をいたします。※

**シャノン担当者:** 送信いただいたSSL証明書をサーバにインストール後、設定完了のご連絡をいたします。(2~3営業日頂戴いたします)

**お客様:** ドメインを取得し、**シャノン担当者**よりご連絡したCNAMEレコードをお客様のDNSサーバにご登録ください。

※保守上の理由によりCNAMEレコードが変更になる可能性があります。

# プランB・CにおけるCNAME設定の注意事項(1/3ページ)

プランBおよびCでは、お客様のDNSサーバにCNAMEレコードを登録いただきますが、**ご希望のドメイン名がネイクッドドメインと呼ばれるドメインの場合、DNSの仕様上CNAMEを登録いただけません。**

## ○ネイクッドドメインとは

例えば“example.com”ドメインを取得した場合、“www”や“form”などのサブドメインの無い“example.com”がネイクッドドメインにあたります。

またサブドメインがついたドメイン名であっても、同じ名前のDNSレコードが既に存在する場合もネイクッドドメインにあたります。これはDNSに「**CNAMEはDNSゾーン内の全てのDNSレコード名と重複してはならない**」という制限があるためです。

例えば“example.com”のDNSゾーン内にサブドメイン“www.example.com”を登録する場合は、他のレコードと重複せずネイクッドドメインにあたりますが、(下図※1)DNS管理者が権限分散などの目的で、“www.example.com”ゾーンを作成しお客様に委譲する場合があります、この場合“www.example.com”がネイクッドドメインとなり、新たにCNAMEを登録することは出来ません。(下図※2)

### example.comゾーンの場合

example.com.	SOA	xxxxxxx
example.com.	NS	ns.example.com.
example.com.	A	1.1.1.1
(※1)www.example.com.	CNAME	xxx.shanon.co.jp.
example.com.	<del>CNAME</del>	yyy.shanon.co.jp.

### www.example.comゾーンの場合

www.example.com.	SOA	xxxxxxx
www.example.com.	NS	ns.www.example.com.
www.example.com.	A	1.1.1.1
xxx.www.example.com.	CNAME	xxx.shanon.co.jp.
(※2)www.example.com.	<del>CNAME</del>	yyy.shanon.co.jp.

CNAMEはDNSゾーン内の既存レコード名と重複出来ない

# プランB・CにおけるCNAME設定の注意事項(2/3ページ)

## ~CNAME登録可否の確認~

ご希望のドメインがネイキッドドメインかどうかは、DNSサーバの設定によって異なります。  
DNSサーバへのレコード登録がまだであれば、前ページを参考にネイキッドドメインを避けるように設定をお願いいたします。

既にドメイン取得、DNSサーバ設定がお客様側でお済みの場合、  
ネイキッドドメインであるかどうかは以下の方法で判定出来ます。(Windows10の場合)

1. 画面左下のWindowsボタンをクリック、「cmd」と入力して、コマンドプロンプトを起動します。
2. コマンド”nslookup -type=ns <SMPドメイン名>” と入力してEnterを押します。
3. 「権限のない回答(もしくはNon-authoritative answer)」 「nameserver = xxx.jp」といった出力があれば、同名のNSレコードが既に存在しているためネイキッドドメインにあたり、新たにCNAMEを登録することは出来ません。(左下図参照)
4. 3の出力がなければ、ネイキッドドメインではないためCNAMEを登録いただけます。

### ネイキッドドメインの場合

```
C:\Users¥          >nslookup -type=ns example.com
サーバー:  UnKnown
Address:

権限のない回答:
example.com      nameserver = a. iana-servers.net
example.com      nameserver = b. iana-servers.net

a. iana-servers.net      internet address = 199.43.135.53
a. iana-servers.net      AAAA IPv6 address = 2001:500:8f::53
b. iana-servers.net      internet address = 199.43.133.53
b. iana-servers.net      AAAA IPv6 address = 2001:500:8d::53
```

※NS(NameServer)レコード・・・

DNSレコードの1種で、そのドメインのDNSサーバを定義するレコードです。

# プランB・CにおけるCNAME設定の注意事項(3/3ページ)

## ~ネイキッドドメインの場合の対応~

ご希望のドメイン名がネイキッドドメインだった場合の代表的な対応方法は以下になります。  
いずれもお客様やDNS管理者側でのご対応をお願いするものとなります。  
お客様の運用ポリシーに合わせていずれかご検討下さい。

### ○ドメイン名を”www.example.com”などサブドメインのついたものに変更する

この場合、ご希望のドメイン名と同名のDNSゾーンを新規作成するのではなく、  
既存のDNSゾーンにサブドメインを追加する形でご設定下さい。  
(“example.com”ゾーンにサブドメイン”www”を追加して下さい。)

### ○シャノンにDNS管理を委託する

シャノンでは2でご紹介しましたRoute53をDNSサーバとして利用しているため、  
ネイキッドドメインのCNAME設定に対応しております。  
(正確には”ALIASレコード”と呼ばれるAWS独自のDNSレコードになります。)  
専用ドメインプランAにてドメイン取得・DNS管理・SSL証明書取得までお任せいただける他、  
ドメインやSSL証明書をお客様にて取得する場合でも、有償にてDNS管理を代行いたします。

# プランCにおけるSSL証明書の注意事項

プランCでご契約の場合、貴社でSSL証明書の取得・管理を行っていただきます。  
それにあたりいくつか注意事項がございますのでご一読下さい。

## ◆SSL証明書の制限

1. クラウドライセンスに対応した証明書であること
2. ワイルドカード・マルチドメイン証明書でないこと(セキュリティの観点からお預かり出来ませんのでご了承下さい。)

## ◆貴社から頂く必要があるもの

(機密情報保護の観点から、メールでのファイル送信はご遠慮いただきますようお願いいたします。)

1. SSL証明書: PEM形式のX.509証明書
2. SSL証明書に対応した中間CA証明書

※1 SSL証明書の種類によって、クロスルート用中間 CA証明書  
が必要な場合があります。認証局の説明をご確認の上ご用意お願い致します。

※2 秘密鍵およびCSRファイルはシャノンで作成いたしますので、  
貴社から秘密鍵を頂く必要はありません。(2048bitの公開鍵長で作成しております。)

## ◆貴社が取得した SSL証明書を利用する場合の責任範囲

シャノン: SSL証明書のサービインストールと SHANON MARKETING PLATFORMの運用

貴社: SSL証明書の管理(期限更新など)

## ■ 補足：本資料で使用されている用語の解説

### FQDN

完全修飾ドメイン名の略でサブドメイン名・ドメイン名を省略せずにすべて指定した記述形式のこと。

(例)     www.shanon.co.jp ... FQDN  
          www ... サブドメイン, shanon.co.jp ... ドメイン

### DNSサーバ

インターネット上のホスト名とIPアドレスを対応させるシステムで、ドメインを運用するために利用する。

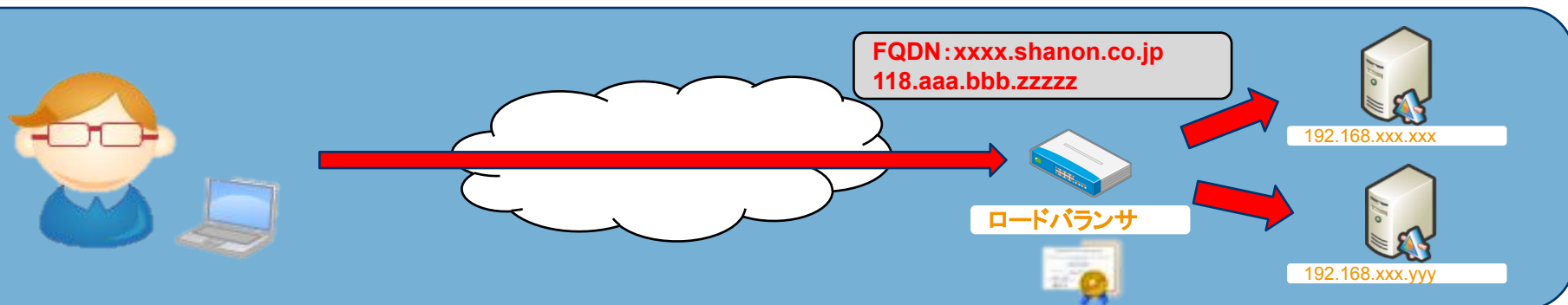
### CNAME

DNSレコードの一種で、あるホスト名の別名(エイリアス)を設定できるもの。

# SSL証明書のクラウドライセンスについて (1)

SSL証明書には大きく二つのライセンス形式が存在しております

パターンA: 一つのFQDNに対して一つのSSL証明書が必要となる場合



ロードバランサ配下にWebサーバが複数台存在していてもSSLは一つ

クラウドライセンスに対応している認証局のSSLは、ロードバランサ配下に複数台サーバが存在していても1つのFQDNに対して1つのSSL証明書でサイトの証明が可能です。

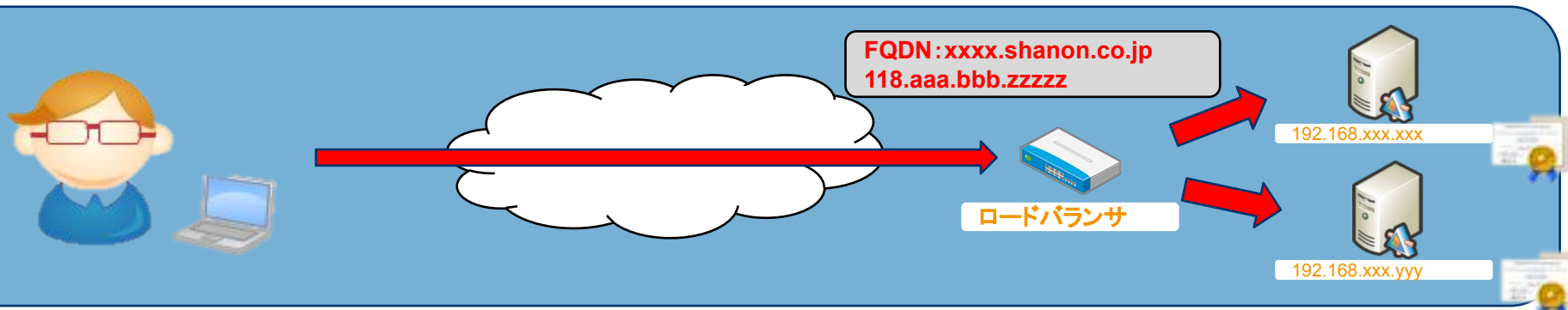
認証局によっては「ロードバランサライセンス」「クラウドライセンス」などの名称で呼ばれております

SHANON MARKETING PLATFORMではロードバランサを設置し、配下に数十台のWebサーバを設置しているためクラウドライセンスに対応しているSSLのみご利用が可能となります。(弊社で取得代行するグローバルサインもクラウドライセンスに対応しております。)

## SSL証明書のクラウドライセンスについて (2)

※SHANON MARKETING PLATFORMではご利用になれないライセンス形態となります。

パターンB: 一台のWebサーバに対して一つのSSL証明書が必要となる場合



ロードバランサ配下にWebサーバが二台ある場合は、SSL証明書が二つ必要

クラウドライセンスに対応していない認証局のSSLは、ドメインが一つでもロードバランサ配下に設置しているWebサーバ台数分のライセンス費用が必要となります。

SHANON MARKETING PLATFORMではパフォーマンス対策として動的にWebサーバを増減させる機能を有しているため、大変申し訳ありませんがパターンBの認証局はご利用いただけません。

# SSL各種プラン比較表

発行元			
プラン	ドメイン+ AWS-SSL	ドメイン+ 企業認証SSL	ドメイン+ EVSSL
月額料金	¥10,000	¥12,000	¥15,000
認証事項	○ドメイン所有者確認	○ドメイン所有者確認 ○本人確認 ○組織の法的実在性確認	○ドメイン所有者確認 ○本人・権限確認 ○組織の法的・ 物理的実在性確認
証明書表示仕様	○アドレスバーに鍵マークが表示	○アドレスバーに鍵マークが表示 ○証明書に組織名が表示	○アドレスバーに鍵マークが表示 ○証明書およびアドレスバーに 組織名が表示※
発行までの期間	5~6営業日	7営業日程度	15営業日程度

※...IEからご利用の場合、加えてアドレスバー全体が緑色に表示されます。

## 比較表(続き)

発行元			
プラン	ドメイン+ AWS-SSL	ドメイン+ 企業認証SSL	ドメイン+ EVSSL
ドメイン認証期限	3日以内	30日以内 (企業認証・EVSSLは別途追加審査あり)	
証明書有効期間	13ヶ月間	1年間(更新時は+1ヶ月)	
更新作業	自動	手動(毎年発行審査が必要)	
発行可能な証明書	ドメイン認証のみ	ドメイン認証・企業認証・EV	

# ドメイン・SSL証明書の期限管理の責任範囲について

P2の表に記載しております、ドメインや SSL証明書の「運用」にはそれぞれの**有効期限の管理・更新業務**を含みます。

表においてドメインおよび SSL証明書の取得・運用が「お客様」と記載されているプランは**貴社にて期限を管理し、更新していただく必要があります。**

※プランBの場合のドメイン、プランCの場合のドメイン・SSL証明書の期限管理をお客様にて行っていただきます。

お客様が取得して弊社サーバにインストールした SSL証明書が期限管理されておらず、有効期限が切れてしまうなどのケースが発生しておりますのでお気をつけ下さい。